

【Insectopia（インセクトピア）】とは： insect（虫）と utopia（理想郷）を掛け合わせた造語
『蟲たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELLグループがお届けする情報発信ニュースレター。



秋のうちに備える、快適に過ごすための越冬虫対策

秋が深まり、寒さが一段と増して冬も近づいてきました。11月は、さまざまな虫たちが越冬するために屋内に侵入しやすくなる時期です。冬を快適に過ごすために今からできる備えを始めましょう！

冬を前に知っておきたい虫の習性

近年の住環境は、空調機器の発達や高気密・高断熱住宅の普及により、四季の気候変動に左右されることなく快適に過ごせるようになりました。

しかし、快適な住環境の恩恵を受けているのは人間だけではありません。侵入性のある多くの虫は冬が近づくと、暖かさや食料を求めて屋内に侵入し、暖房の効いた乾燥した空間で休眠状態に入ります。（休眠＝冬の低温期、夏の高温期など、その虫にとって厳しい環境を過ごすための成長の停止のこと）

こうして冬を過ごした虫は、気温の上昇とともに翌春、再び活発に動きはじめます。

越冬のために侵入する虫と対策

①越冬のために侵入する主な虫

以下は、秋から冬にかけて屋内に入り込みやすい代表的な虫です。

種類	特徴
カメムシ	日光に当たった洗濯物などに付着し、外部からの刺激を受けると悪臭を放つ。
ゴキブリ	暖かく湿った場所を好み、台所や浴室で繁殖。
ダニ	温湿度が高い布団やカーペットに潜み、フケやホコリを餌に繁殖。
カツオブシムシ	カーペットや衣類、ぬいぐるみなどに発生し、繊維やたんぱく質を食害。

②潜みやすい場所と注意ポイント

越冬を目的とする虫は、建材の隙間や換気口、エアコンの配管まわりなど、わずかなすき間から屋内に侵入します。とくに暖房の熱がこもりやすい家電の裏や収納の奥、カーテンの折り目などは、気づかれにくい越冬場所です。窓やドアのパッキンの劣化、換気扇まわりのすき間などを点検し、侵入経路をふさぐことが基本です。さらに、不要な段ボールや紙袋などを片づけ、ホコリやフケなどの餌となる汚れを減らすことも効果的です。

シェルグループの「ベストコンサルテーション」

シェルグループでは、害虫や害獣から人の住環境を守るため、「ベストコンサルテーション」を展開しています。これは、建築計画の初期段階から衛生リスクを設計に組み込み、建物全体の有害生物発生リスクを軽減させる予防サポートです。建物周辺での害虫・害獣対策の一助となるよう、この取り組みを推進し、その重要性を広く伝えてまいります。

🔥 8thCALでは、建築段階における衛生管理や害虫獣リスクの意識調査を実施しました。

【第1回】

建築段階での害虫・害獣に関する衛生管理についての実態調査 ▶▶ [結果はこちら](#)

【第2回】

現場における害虫獣リスクと対策意識に関する実態調査 ▶▶ [結果はこちら](#)



害蟲展 season6を終えて

8月23日から約1カ月にわたり、東京と大阪で開催した「害蟲展 season6」は、お陰様で多くの皆様にご来場いただき、無事に会期を終えることができました。

全国から約100点の応募が寄せられ、うち20点を展示。害虫や生き物に対する多様な視点が集まり、子どもから大人まで幅広い世代に楽しんでいただきました。東京会場の来場者数は昨年を20%ほど上回り大きな盛り上がりを見せました。新たな試みとして実施した17時以降の夜間展示も、多くの方にご好評いただきました。

反響と広がり

会場では、作品の前でじっくり立ち止まり、観察したり語り合ったりする来場者の姿が印象的でした。SNSやアンケートでも「害虫の視点が変わった」「害虫という生き物の美しさを知れた」「害虫は本当に害なのか？」といったコメントが多数寄せられ、本展が害虫の存在意義について考えを巡らす場になったことを改めて実感しています。展示をきっかけに生き物や自然に関心を持つ方々の層が広がっており、その輪を一層広げられるように会期以外も魅力あるSNSの発信を続けていきます。

開催の意義と次への展望

害蟲展～ワルモノにされたイキモノたち～は、生物・命の美しさ、有益な側面に焦点を当てて制作された作品を通して、生命の循環や存在意義について考えるきっかけになることを目指した公募展です。今後も様々な領域の多くの方々と一緒に「地球上のいのちの存在」について考えていきたいと思います。



写真：東京会場メディアレセプションの様子

本展は、出展者・来場者・スポンサーをはじめ、支えてくださったすべての皆様のご協力により成り立っています。season6の経験を糧に、今後も多様な生物の存在意義を伝える展示として、より充実した内容をお届けできるよう努めてまいります。

今後も「害蟲展」の応援を
どうぞよろしくお願いいたします！

▶▶ [害蟲展公式HP](#)

害蟲展公式Xと公式Instagramでは、
次回の開催情報や虫に関するコンテンツ
をお届けしています！
ぜひフォローしてください♪



HP



X



Instagram

今月のInsect



写真/解説
中峰 空
8thCAL技術顧問
真面目昆虫館館長



ケバエ属の幼虫
(毛蠅の幼虫)
ハエ目ケバエ科
学名：Bibio sp.

秋が深まる頃、林の地面や落ち葉の下で毛の生えた幼虫の塊を見かけることがある。これらは腐植質を食べるケバエ類の幼虫で、成虫は春に羽化しオスは群飛する。地表に現れる幼虫塊に不快感を感じる人は多いが、幼虫成虫ともに全く無害で特に幼虫は腐植質の分解者として重要な位置を占める。

Information

● Pick up 展示会・セミナー情報

日本ペストロロジー学会新潟大会
日時：2025年11月6日(木)～7日(金)
場所：新潟市民プラザ（NEXT21ビル 6階）
▶▶ [詳細はこちら](#)



ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2025
※**シェル商事が出展します**
日時：2025年11月19日(水)～21日(金)
場所：東京ビッグサイト 西展示棟
▶▶ [ご来場登録はこちら](#)



Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから！

QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。
ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を
配信中です。

